



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリテ

コード番号 9904 URL <http://www.verite.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) ジャベリ・アルパン・キルティクマール

問合せ先責任者 (役職名) CFO

(氏名) 米畑 博文

TEL 045-415-8821

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,864	△16.8	△41	—	△111	—	△159	—
26年3月期第3四半期	7,052	△2.0	150	15.3	14	△60.0	△5	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△5.86	—
26年3月期第3四半期	△0.19	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第3四半期	11,233	—	6,890	—	61.3	253.21
26年3月期	11,115	—	7,045	—	63.3	258.88

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,890百万円 26年3月期 7,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭 0.00				
27年3月期	0.00	0.00	0.00	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△8.0	240	0.0	100	400.0	40	△73.7	1.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業務予想を省略しております。詳細は添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	27,230,825 株	26年3月期	27,230,825 株
27年3月期3Q	19,018 株	26年3月期	16,989 株
27年3月期3Q	27,212,845 株	26年3月期3Q	27,216,051 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）におけるわが国経済は、現政権および日本銀行による財政・金融政策を背景とした各種政策、また円安傾向の中にあつて輸出関連企業の業績復調気配等による継続的で緩やかな景気回復基調の途上にありました。一方では、ギリシャにおける金融債務問題の懸念は持続されており、中近東における政情不安の継続等、不安定な国際情勢を反映した円安基調による輸入品価格の上昇という状況も引き続き生じております。

個人消費におきましては、昨年4月に施行された消費税増税の影響が予想以上に長引き、これに端を発している個人消費者の節約志向、買い控え等、消費者心理の冷え込み解消までには、さらに長時日を要するものと想定されます。また、追加の消費税増税施行も延期はされたものの、引き続き消費者の中には将来に対する不透明感への備えの姿勢は未だ強固なものがあると推察されます。これに加えて、度重なる大型台風襲来、12月の歳末商戦繁忙の時期に平年を上回る積雪を含む天候不順の影響等も相俟って、厳しい業績環境が継続しております。しかしながら、今後、第4四半期に向けて、本社ファミリーセールその他、バレンタインデー並びにホワイトデー商戦、更には春に向けての諸催事・企画を、なお一段の改善策として、鋭意実施することにより、予断を許さぬ状況下ながら、飽くまで最適な着地点に向けて、全社一丸となつて、これら諸施策を成功裡に納めるべく注力し、改善に努めてまいります。

店舗面におきましては、ブライダル関連商品を主に取り扱っております

- ・マハラジャダイヤモンド ららぽーと和泉店（大阪府和泉市）
- ・マハラジャダイヤモンド キラリトギンザ店（東京都中央区）

ペリテ関連商品を主に取り扱っております

- ・ペリテ ピエリ守山店（滋賀県守山市）

および既存店舗の全面改装による新装開店1店舗

などの計4店舗が新たに加わりました。また新規店舗および既存店舗におきましても、旧来より実施しております各種催事への出展、各店舗主催の地域展開等を引き続き鋭意実施し、お客様の多様なご要望にお応えすべく対応してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,864百万円（前年同四半期比16.8%減）、営業損失41百万円（前年同四半期は営業利益150百万円）、経常損失は111百万円（前年同四半期は経常利益14百万円）、四半期純損失は159百万円（前年同四半期は四半期純損失5百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産合計は11,233百万円となり、前事業年度末に比べ118百万円の増加となりました。これは主に、新規店舗における有形固定資産の増加によるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は4,343百万円となり、前事業年度末に比べ273百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の実行および営業債務の増加によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は6,890百万円となり、前事業年度末に比べ155百万円の減少となりました。これは主に、四半期純損失によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年度3月期の通期の業績予想につきましては、今後修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたしますが、現時点においては、平成26年5月13日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当第3四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,533	1,620
受取手形及び売掛金	1,336	1,296
商品	5,927	5,898
短期貸付金	98	80
その他	632	735
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,527	9,630
固定資産		
有形固定資産	361	434
無形固定資産	12	11
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,154	1,083
その他	73	88
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	1,213	1,157
固定資産合計	1,588	1,603
資産合計	11,115	11,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772	794
短期借入金	2,700	2,800
未払法人税等	82	17
返品調整引当金	4	3
その他	398	598
流動負債合計	3,958	4,213
固定負債		
ポイント引当金	29	29
その他	82	99
固定負債合計	111	129
負債合計	4,070	4,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,972	3,972
資本剰余金	3,928	3,070
利益剰余金	△857	△159
自己株式	△3	△3
株主資本合計	7,040	6,880
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	9
評価・換算差額等合計	4	9
純資産合計	7,045	6,890
負債純資産合計	11,115	11,233

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
売上高	7,052	5,864
売上原価	3,444	2,840
売上総利益	3,607	3,024
販売費及び一般管理費	3,457	3,066
営業利益又は営業損失（△）	150	△41
営業外収益		
受取利息	2	1
雑収入	14	11
その他	3	0
営業外収益合計	20	13
営業外費用		
支払利息	72	42
支払手数料	53	34
その他	29	7
営業外費用合計	156	83
経常利益又は経常損失（△）	14	△111
特別利益		
原状回復費用戻入	27	—
受取補償金	8	—
特別利益合計	35	—
特別損失		
店舗撤退損	16	9
特別損失合計	16	9
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	34	△121
法人税、住民税及び事業税	39	38
法人税等合計	39	38
四半期純損失（△）	△5	△159

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社は、第69期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)までは宝飾事業及びブランド事業の2種類のセグメントを有しておりましたが、第69期末に当該ブランド事業におけるフランチャイズ契約の合意解約したことを契機に、販売体制の見直しを行なった結果、宝飾事業の単一セグメントに変更しております。このため、第1四半期累計期間よりセグメント情報の記載は行なっておりません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当第3四半期累計期間は宝飾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。